

まちづくり交付金 事後評価シート  
JR芦原温泉駅周辺地区




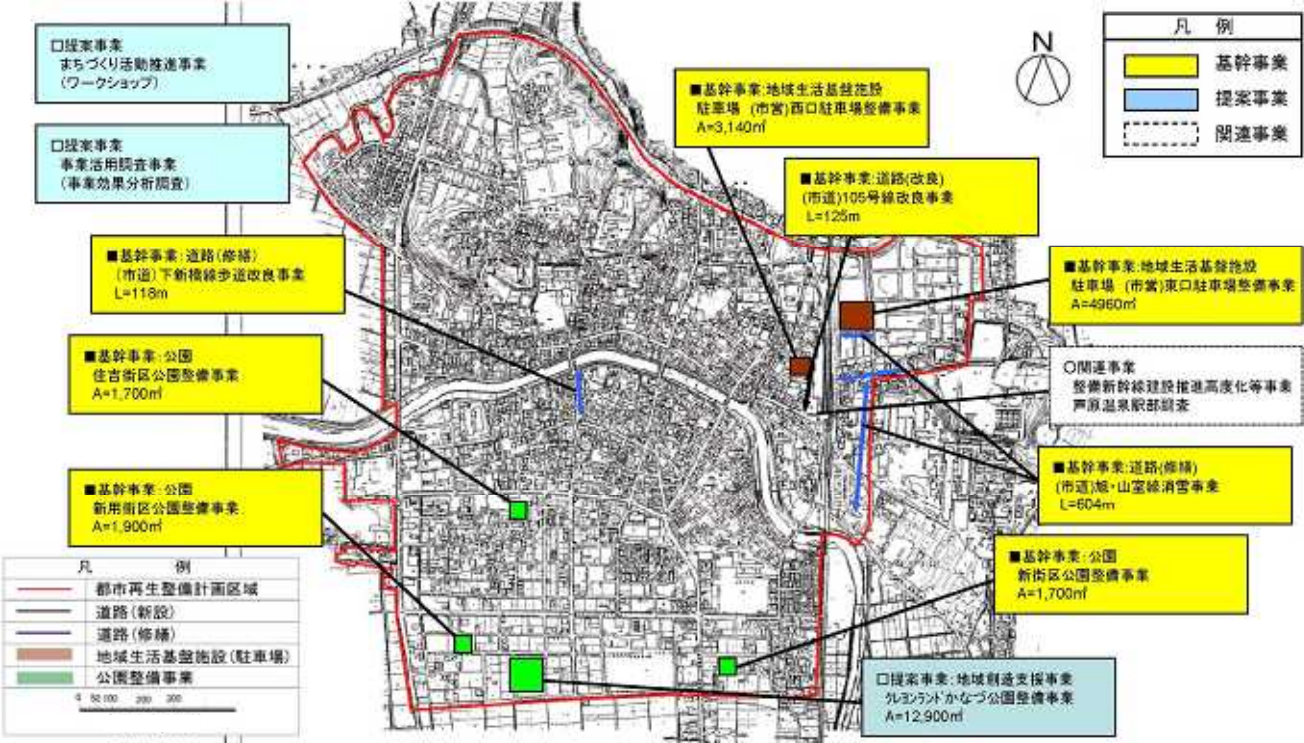



平成21年12月

福井県あわら市

様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	福井県		市町村名	あわら市		地区名	JR芦原温泉駅周辺地区			面積	280ha		
交付期間	平成19年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	412	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		道路(市道105号線、市道旭・山室線)、地域生活基盤施設(西口駐車場、東口駐車場)								
			提案事業		地域創造支援事業(近隣公園外モラトかなづ)、まちづくり活動推進事業(住民参加によるまちづくり活動の推進)								
	当初計画から削除した事業		基幹事業		なし								
			提案事業		なし								
	新たに追加した事業		基幹事業		道路(市道下新橋線)			本計画の目標である定住環境の向上を図るため、安全安心な通学路歩道の拡幅改修を追加		本計画の目標である定住環境の向上に関連する事業であるが、他事業による影響も大きいため、指標、数値目標は据え置く。			
			提案事業		公園(住吉街区公園、新用街区公園、新街区公園)			本計画の目標である定住環境の向上をより一層高めるため、街区公園整備を追加		本計画の目標である定住環境の向上に関連する事業であるが、他事業による影響も大きいため、指標、数値目標は据え置く。			
交付期間の変更		当初	平成19年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			予定時期	
	指標1	乗降客数	%	3	H17	±0	H21		8	x	あり なし	交通ターミナル機能が強化されたものの、社会情勢の変化を背景にその効果が十分に発揮されなかった。	平成23年5月末
	指標2	地域内人口	人	8,499	H18	8,600	H21		8,650	あり なし	公園や生活道路の充実により良好な定住環境が形成された。	平成22年4月	
	指標3	市民活動団体数	団体	6	H17	8	H21		8	あり なし	ワークショップや講演会などを開催したことにより住民参加型まちづくりに対する市民気運が高まった。	平成22年4月	
	指標4								あり なし				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)		フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み			予定時期	
	その他の数値指標1	あわら市都市公園清掃管理業務委託団体数	団体	13	H17			15			公園整備により住民主体のまちづくり活動の場が整った。	なし	
その他の数値指標2	駅周辺駐車場の利用者数	人	26,601	H17			30,263			東口駐車場の整備により新たな駐車需要が喚起された。	平成23年6月		
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	<p>*街区公園において計画段階におけるWSや地元主催による開園式の開催など、住民参加型の取り組みを展開したことにより、公園に対する愛着が生まれ、利用促進、地域コミュニティの醸成につながった。また、ハードとソフトの組合せによる住民参加型まちづくりの仕組みが構築できた。</p> <p>*新富区が取り組んでいる“あかりのまちづくり”は、ワークショップや講演会などの取り組みを通じた住民参加型まちづくりに対する市民気運の高まりの波及効果と考えられる。</p>												
5)実施過程の評価	実施内容				実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング		なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス		住民参加型まちづくりの推進(ワークショップや講演会等の開催)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				引き続き住民参加型まちづくりへの参加機会を提供するとともに、住民活動に対する継続的な支援を行う。				
			街区公園整備に係る住民参加(計画段階のワークショップ、開園式の開催)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も公共事業への市民参画を積極的に推進する。				
持続的なまちづくり体制の構築		福井県三国土木事務所による「道路美化協定」に基づく公共施設の維持管理に対する地域の体制づくり		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				現在の協定が継続されるよう、また、新たな協定が締結されるよう、引き続き支援を行い、花と緑のまちづくりへの市民参画を促す。					

## 様式2-2 地区の概要

J 芦原温泉駅周辺地区(福井県あわら市) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 将来の北陸新幹線芦原温泉駅の現駅併設を見据え、定住環境の向上を図りながら駅周辺の活力あるまちづくりを進める。 目標1: 将来の北陸新幹線現駅設置を踏まえた交通ターミナル機能の強化 目標2: 地区内に散在する低未利用地の活用 目標3: 地域コミュニティの活性化による定住環境の整備		乗降客数	単位: %	3	H17	± 0	H21	8	H21
		地域内人口	単位: 人	8,499	H18	8,600	H21	8,650	H21
		市民活動団体数	単位: 団体	6	H17	8	H21	8	H21
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">  <p>基幹事業[道路] 市道下新橋線歩道改良事業</p>  <p>提案事業[地域創造支援事業] ルンパットかなづ公園整備事業</p>  <p>基幹事業[公園] 新用街区公園整備事業</p> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;">  <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 基幹事業</li> <li>□ 提案事業</li> <li>○ 関連事業</li> </ul> <p>■ 基幹事業: 都市再生整備計画区域</p> <p>— 道路(新設)</p> <p>— 道路(修繕)</p> <p>■ 地域生活基盤施設(駐車場)</p> <p>■ 公園整備事業</p> </div> <div style="width: 30%;">  <p>基幹事業[地域生活基盤施設] (市営)東口駐車場整備事業</p>  <p>基幹事業[道路] 市道105号線改良事業</p>  <p>基幹事業[道路] 市道旭・山室線消雪事業</p> </div> </div>									
<b>まちの課題の変化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パークアンドライド機能を有する西口・東口駐車場が整備されたこと、また、県道芦原温泉停車場線と西口駐車場を結ぶアクセス道路(市道105号線)が整備されたことにより、交通ターミナル機能が強化されたものの、部分改良に留まっているアクセス道路(市道105号線)の整備を継続して進める必要がある。</li> <li>・また、鉄道建設・運輸施設整備支援機構が実施する整備新幹線建設推進高度化等事業による芦原温泉駅部調査に併せて、駅舎や自由通路、駅前広場などの交通ターミナル機能の確保に向けた取り組みを継続して推進する。</li> <li>・近隣公園の機能強化、街区公園の新設、歩道や消雪装置の整備による生活道路の修繕が実施されたことにより、身近な定住環境が整った。</li> <li>・市道105号線及び西口・東口駐車場の整備により、駅周辺部の低利用・未利用地が一部有効利用されたものの、新幹線開業を見据えた福井県の北の玄関口にふさわしい新たな都市機能の導入などにより、低利用・未利用地を更に有効利用する必要がある。</li> <li>・街区公園の整備の際に実施されたワークショップや開園式、また、JR芦原温泉駅周辺のまちづくりを検討の対象としたワークショップや講演会等などにより、住民参加型まちづくりへの様々な参加機会が提供され、市民気運が高まった。また、<b>住民参加型まちづくりの仕組みが構築できた。</b></li> </ul>									
<b>今後のまちづくりの方策(改善策を含む)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の生活を支える都市基盤を充実・強化し、さらに都市基盤の適切な維持管理を推進することにより、定住環境を更に高める。</li> <li>・<b>今回構築した住民参加型まちづくりの仕組みを活かしながら、住民参加型まちづくりへの参加機会の提供、また、住民活動に対する継続的な支援を行うことにより、参加者の拡大、住民活動の多様化を促し、住民参加型のまちづくりを持続的に発展させる。</b></li> <li>・新幹線開業を見据えた交通ターミナル機能の強化を段階的に推進し、また、それら取り組みの進捗や成果を広くPRすることにより駅の利用促進を図り、駅周辺の拠点性を高める。また、交通ターミナル機能の強化にあたっては駅周辺の未利用・低未利用地を積極的に利用する。</li> <li>・現在の地域経済が低迷する状況下では新幹線開業の効果を十分に享受できないため、JR芦原温泉駅を玄関口とする観光地の誘客促進や産業の振興などの取り組みを広域的な連携のもと展開し、<b>地域経済を活性化するとともに、駅勢圏の広域化を図る。</b>また、駅周辺の低利用・未利用地については地域の活力向上等に資する新たな都市機能の導入などにより有効利用を図る。</li> </ul>									